

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	2025年2月6日(木)
クラス名(年齢)	いちご組(1歳児)
年間テーマ	光

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

ひかり② ～外での太陽の光に気付こう～

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

前回、床に光が当たっている事に気付いたが、それが太陽の光とはまだ分からず。太陽の光が見えやすい園庭でやる事で少しは繋がるのではないか。

### 2. 活動スケジュール

天気の良い日の園庭で、太陽の光の存在に気づけるように、ウォーターブロックを使ってみる。光がウォーターブロックを通ると、色がつく不思議さに気付く。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

天気の良い日の園庭。光が当たりやすい場所で行ってみる。  
ウォーターブロック

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・園庭遊び中に、天気の良い日を選んでまずは保育士がウォーターブロックを使って、光を通すと色がつく事に気付く。
- ・子ども達にもウォーターブロックを使い、どうしたら地面に色がつくか遊んでもらう。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<p>ウォーターブロックに光をあてて、地面に色をつけてみせる。</p> <p>次々と寄ってくる子ども達。地面の色を見て、蹴ってみたり触ってみたりしている。</p> <p>「あか」「あお」と口々に色をいっている</p> <p>保育士が持っているウォーターブロックに気付き、貸してほしいと手を伸ばしてくる。</p> <p>砂の上では使わない事(砂で表面がざらつくと、色が出にくくなる為)を約束して渡す。</p> <p>覗いて、色がつく世界観を楽しんでいる。</p> <p>「なんであおになるの」と疑問をもつ。</p> <p>地面に色をつけようと、ウォーターブロックを地面に置いてみる。</p> <p>自分が影になってしまい地面が色につかない。</p> <p>保育士がお手本を示す</p> <p>やってみて成功する子もいるが、上手いかない子もいる。</p> <p>友だち同士でウォーターブロックをのぞきあって、色のついた世界を楽しんでいる。</p> <p>身体の向きで、なかなか光を通すことができずにいる。</p> <p>テラスに並べると、偶然にも太陽の光を通すことができ、テラスの床に色がつく。</p>	     

## 5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

はじめは、ウォーターブロックの色が太陽の光を通して地面についていることが分からず、ひたすら地面についた色を触っていた。「ウォーターブロックと同じ色だよ」、「太陽の光が当たると、地面に色がつくんだよ」とウォーターブロックを使いながら伝えていくと、なんとなく分かってきた子もいた。自らウォーターブロックを持って、どうにか色をつけようとするが、向きが難しくてなかなか地面に色につかない。繰り返しやっている内に色がついて喜んでいる子もいたが、分からずにウォーターブロックを覗き込んで楽しむ子もいた。光を通すのが難しく、太陽の光とは意識できにくかった。